

令和8年度 金沢小だより(9月号)別紙 全国学力・学習状況調査の結果について(教科編)

4月に行った全国学力・学習状況調査の結果が出ました。国語と算数が実施され、本校の平均正答率は右の表のとおりでした。

平均正答率	国語	算数
本 校	74%	73%
東京都	65%	63%
全 国	60.9%	56.4%

本校において特色があった回答の設問を次に掲載します。

是非、解いてみてください。※設問は紙面や説明の関係上、レイアウト等の変更、表記の付加をしています。

(国語) 問題形式は「選択式・短答式・記述式」の3点があり、記述式の正答率が低くなる傾向があります。本校の記述式の設問で無回答(回答欄が空欄)の割合が最も高いもので10.9%(無回答の本校の平均は約1.7%)でした。

今回の調査で正答率が最も低かったのも記述式の設問で、次のような問いでした。

花山さんの学級では、夏を快適に過ごすためのくふうについて調べて考えたことを書き、友達と文章を書き、友達と報告し合うことにしました。花山さんは、「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について調べ、文章を書いています。

次の【花山さんの文章の一部】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう

1 はじめに

夏休みに外出したとき、長そでの服を着ている人を見かけた。暑いときは、そでがみじかい方がすずいのではないか。なぜ、長そでの服を着ているのかふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

2 どうして暑い日に長そでの服を着るのか

「生活と太陽」という本には、「日差しの強いときにはだを出して日焼けをすると、はだがひりひりしたり、水分が失われたりする。」と書かれている。また、「世界の衣服」という本には、「暑い国の中には、はだのほとんどを衣服でおおっている人たちがいる。皮ふに直しゃ日光を当てない方がすずいのである。」と書かれている。強い日差しが照りつけるえん天下では、はだを出しすぎないように着る物をくふうすることができそうだ。では、すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのだろうか。

〈図〉

3 すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのか

「熱中しょうかん境保健マニュアル2022」には、暑さをさける衣服のくふうとして、「ゆったりした衣服にする。」「えり元をゆるめて通気する。」と書かれている。また、「夏のくらし方」という本には、「服とはだの間に風が通るようにえり元やすそをゆったりさせると、すずしくなります。」と書かれている。〈図〉のように衣服の形や着方を意識してくふうすることで、長そでの服でもすずしく快適に過ごすことができそうだ。では、衣服の形や着方以外に、快適に過ごすくふうはあるのだろうか。



問 花山さんは、【集めた情報】(資料3)をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを【花山さんの文章の続き】(資料2)に書いています。あなたが花山さんなら、に入る内容を、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

<条件>

- 【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、ぬき出して書くこと。
- ぬき出した本の題名と本文の一部の内容はかぎっこ(「 」)でくくること。
- ぬき出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書くこと。
- 百四十字以内にまとめて書くこと。

【花山さんの文章の続き】（資料2）

4 すずしく過ごせる衣服の色は何色か

「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そででもすずしく過ごすことができそうだ。

また、

5 終わりに

これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえぎるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。（参考文けん）。

集めた情報（資料3）

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しゃする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

設問は、まず題材となる文章(資料1)があり、その資料の続きになる文章(資料2)がある。この資料2の空白部分について、集めた情報(資料3)を引用しながら主題に沿った自分の考えを記述するというものです。本校の正答率は51.3%、東京都は37.2%でした。

(算数) 平均正答率が東京都より10ポイント高い状況でした。国語と同様に問題形式は「選択式・短答式・記述式」の3点です。平均正答率の東京都より+1.7%と差が小さい記述式の設問がありました。

その設問は次項のとおりです。

6年生のさくらさんたちは、1年生と仲良くなるために交流会を計画しています。交流会では6年生と1年生がいっしょに、ボール遊び、おにごっこ、昔遊びをします。
1年生の各学級の人数は、下の表1のとおりです。

表1 1年生の各学級の人数 (人)

学級	1組	2組	3組	合計
人数	29	30	28	87

さくらさんたちは、1年生にアンケートをとり、どの遊びに参加するかを1つ選んでもらいました。



さくら

アンケートは1年生全員から集め、無回答はありませんでした。

表2は、集めたアンケートを整理したものです。

表2 1年生が選んだ遊び (人)

遊び \ 学級	1組	2組	3組	合計
ボール遊び	9	14	8	31
おにごっこ	8	7	10	25
昔遊び	12	6	10	28
合計	29	27	28	84



えいた

1年生全員からアンケートを集めたのに、表2には、全員分のアンケートが整理されていないのではないのでしょうか。



さくら

全員分のアンケートが整理されていない学級があります。

問 表1と表2を見ると、「全員分のアンケートが整理されていない学級」が1つあることがわかります。「全員分のアンケートが整理されていない学級」は何組ですか。その学級を書きましょう。
また、そのことは、表1のどの部分と表2のどの部分を比べるとわかりますか。言葉と表1と表2の中の数を使って書きましょう。

この設問の趣旨は、**示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるかどうかをみる。**で学習指導要領における領域・内容において第3学年の「D データの活用」にあたります。身につけさせたい知識及び技能には、様々なデータを分類整理し、表に表したり読んだりすることが挙げられます。